

Infinite ~ 可能性への道 ~

執行部だより No. 33
2011.12.16 (金) 発行

かっぽつはっち 活澆澆地に躍動する

☆執行部会☆

12月12日(月)放課後に第2回執行部会が行われました。今回は先週出された意見の中で、疑問に思ったことについて話し合いました。前回よりも役員全員が多く意見を出すことができ、これからの執行部や生徒会をどうしていきたいのかが少しずつ見えてきたような気がします。

☆執行部研修会☆

来週の月曜日から放課後に執行部研修会が行われます。先週と今週の執行部会で提案された意見をもとに、来年度の目標やこれからの活動について議論をしていきます。これからの執行部がどうあるべきかを、内容を深くして、検討していく予定です。執行部に決定した役員の皆さんは月曜日までにたくさんのことを考えて、まとめた上で研修会に臨みましょう。

☆役員紹介☆

19日から執行部研修会が行われます。これにあたって新役員を改めて紹介していきたいと思います。今号は生徒会長、副会長の3名に1年間役員をやるにあたっての意気込みを掲載します。今後、各部の部長の意気込みも掲載していく予定です。

生徒会長になった御所窪美咲です。私が生徒会長になって学校を引っ張っていくことが出来るのか、と言われるとまだまだ不安でいっぱいです。けれども、園芸高校は来年100周年という大きな節目を迎えるので、副会長や執行部など、そして生徒会のみなさんと協力して、やるべき事をしっかり話し合い、行動して、きちんと出来るように努力します。私は100周年を迎えるにあたって、まず「挨拶」をしっかり出来る学校にしていきたいです。園芸高校に訪れた方全員に「挨拶がいいな」と思ってもらえるようにしたいです。授業の最初と最後にしている挨拶からしっかり出せればいいと思っています。頼りない部分もありますが、活動を通して成長していけるように頑張りますので、1年間よろしく願います。

(生徒会長 2年3組 御所窪美咲)

来年度の生徒会役員が決まり、本格的に活動が始まりました。これから生徒会として、色々決めていきますが、私は「つながり」を大切にして、1年間の活動をさせていこうと思っています。生徒会内でのつながり、生徒会と委員会、生徒一人一人のつながりなど、全校とのつながりが出来るようにしたいと考えています。来年度は園芸高校の創立100周年と農業クラブの平板測量競技の運営など、来年ならではの活動があり、一人一人がつながりを持って活動することが大切だと思います。そのためにも私はつながりをつくるためのきっかけを提案していき、実行したいです。私たちの活動はこれからですが、自分なりに生徒会の一員として、1年間活動をしていくので、よろしく願います。

(副会長 2年4組 篠塚大樹)

私はまず、この学校を当たり前のことができる学校にしたいと思っています。よりよい、生徒が過ごしやすい学校にしたいという思いはあります。しかし、そういった新しいものを行う前に、しっかりと清掃や挨拶など、出来て当たり前のことが出来なければ意味がないように思えるのです。私は生徒会のための新しいものを作りたいと思っています。けれども、みなさんが協力してくれなければ、それが通るとも思いません。全生徒のためといっても実感がないと思いますので、自分自身のためにご協力お願いします。最後に、この学校は生徒会が作るものではありません。生徒全員で作るものだとは私は思っています。だからこそ、皆さんも一緒にこの学校をよりよくしていきます。

(副会長 1年2組 河村凱)

今後の予定 Two Weeks Schedule

12月19日(月) ②③④／保護者懇談会
20日(火) ②③④／保護者懇談会
21日(水) ④⑤⑥／保護者懇談会
22日(木) ①⑤⑥／保護者懇談会
26日(月) ①⑤⑥／保護者懇談会
27日(火) ③④・終業式

今日のポエム Today's Poem

世の中がすべて安定していたら
あなたは思うだろう
窮屈で嫌だときっと思うに違いない
だから不安定なことは決して悪くない
しかもその不安定の中には
自分を変えるチャンスが多く眠っている

園芸情報局 Engei Information

- ①新執行部研修会の日程・会場(変更)
19日(月) 14:00～ 生徒会室
20日(火) 14:00～ 生徒会室
21日(水) 13:00～ 生徒会室
22日(木) 14:00～ 生徒会室
26日(月) 13:00～ 生徒会室
27日(火) 13:00～ 生徒会室
- ②17日(土)須坂園芸高等学校で第2回農業技術検定が行われます。
- ③11月末から学校で風邪が流行ってきています。朝から具合の悪い人は熱を測り、登校する場合はマスクを着用しましょう。
- ④タイトル『活潑潑地』の意味
⇒気力にあふれ、きわめて勢いのよいこと

今日の格言 Today's Saying

落ちているゴミを無視して拾わなければ捨てている人の行動とあまり変わらない

ちょっとした豆知識 Trivia

農業技術検定とは、平成17年度から農林水産業の支援のもと、農業の知識や技術水準を客観的に評価するシステムとして検討が続けられ構築された制度です。

現在の制度設計にある1級、2級、3級の等級区分のうち、3級については19年度から、2級については20年度から、そして21年度からは1級から3級まで全ての級が出そろい、いよいよ本格的な試験の実施となりました。これにともない、平成19年度7月には検定の実施団体として13の農業・教育関係機関からなる「日本農業技術検定教会」を設立し、現在は14の構成団体のもとで、試験運営にあたっています。同検定は平成21年度には全国で16,600人が受験し、農業界における技術・意欲をはかる指標のひとつとして定着しつつあります。そして、農業大学校や大学などでは推薦入学や進学、受験料の減免など、合格者への優遇措置を講じる団体も増えてきました。また、国が実施する農業関係事業の要件としても取り入れられています。このことは検定合格者の質の高さが社会的に認知されてきた証左でもあり、今後、合格者数の増大と活躍が顕著になってくれば、より一層のメリットの広がりにもつながっていくことと思われます。

この日本農業技術検定は、農業に就農しようとする人々の意欲を高めるために行われています。園芸高校の2学年も全員受験しました。18日に検定がありますが、全員合格するよう頑張りましょう。そして、検定を受けたことによって、近い将来、農業関係の仕事に就く人が増え、日本の農業者の多くが若者達になることを期待しています。

次号の予告：①執行部研修会の様子 ②役員紹介その2

晴耕雨読 ～ 園芸版 Column ～

12月中旬になり、寒さが身にしみるようになってきました。来週から懇談会が始まります。何を言われるのか、日が経つにつれて心臓が張り裂けそうなくらい緊張しています。しかし、言われたことをしっかり受け入れて頑張っていければ良いと思います。

さて、今年も残りわずかになりました。1年間を振り返ってみて、皆さんはどんなことを思い出しますか。私にとっては長いようで短い1年間で、やり残したことが沢山あります。だから、1日1日を大切に過ごしていかなければいけないと思いました。

文責：新執行部書記(2-3丸山千夏、2-3羽田理紗、2-4岡宮尚輝)、後記(羽田)